

令和5年産

大崎稲作情報 第9号

令和5年9月28日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- 刈取適期を過ぎた「ひとめぼれ」では穂発芽が見られるため、早急に刈り取りましょう。
- 「みやこがねもち」、「つや姫」や直播水稻も栽培のほ場も早めに刈り取りましょう。
- 「金のいぶき」は、稔実籾が黄色であれば、穂軸が青くても早めに刈り取りましょう。

1 気象経過と生育概況

(1) 気象経過(8月第5半句以降)

8月第5半句から9月第4半句にかけて、真夏日は24日現れ、最高・平均・最低気温は過去5か年と比較してかなり高く推移しました。日照時間は9月第2半句以降、過去5か年を下回るようになりました。降水量は9月第1、2半句は過去5か年を上回りました(図1)。7月21日から8月17日にかけて出穂した平坦部のほ場では、出穂後20日間の温度が高温登熟障害の目安を超えました。

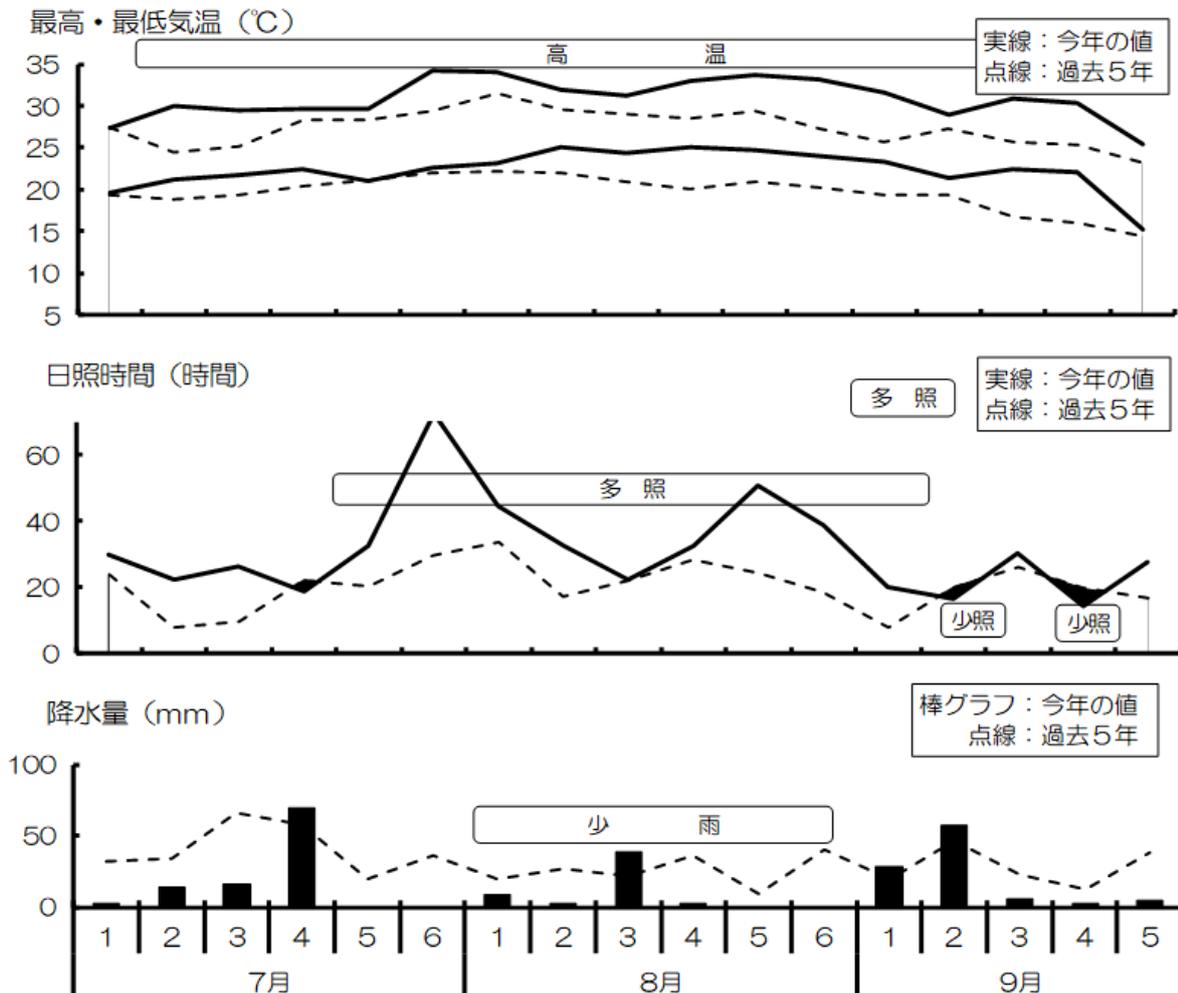


図1 気象経過 (古川)

(2) 生育概況

稈長・穂長は平年よりやや短め～やや長めでほ場間差が見られ、穂数は平年より少ないほ場が多く、一穂粒数は逆に平年より多いほ場が多く、㎡当たり粒数は平年より少なめ～多めでほ場間差が大きくなりました。

表1 生育調査結果（出穂後25日）

品種名	地区名	区分	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	㎡粒数 (百粒)	止葉葉色 (SPAD)	止葉葉位 (枚)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	本年値	88.5	18.6	466	72.3	337	29.4	13.0	
		平年比・差	(105%)	(104%)	(97%)	(118%)	(114%)	(+0.9)	(+0.6)	
ひとめぼれ	加美町小野田	本年値	82.5	19.1	403	72.2	291	29.5	13.4	
		平年比・差	(98%)	(105%)	(86%)	(108%)	(93%)	(-1.1)	(+0.7)	
ササニシキ	大崎市古川	本年値	83.1	19.3	408	91.0	372	29.1	12.6	
		平年比・差	(97%)	(106%)	(85%)	(120%)	(102%)	(-0.7)	(-0.7)	
つや姫	色麻町四竈	本年値	82.7	16.6	414	68.1	282	30.7	13.0	前年比・差
		平年比・差	(96%)	(91%)	(94%)	(86%)	(81%)	(-2.6)	(-0.8)	
だて正夢	大崎市三本木	本年値	90.3	19.2	359	97.6	350	33.6	12.6	
		平年比・差	(104%)	(98%)	(104%)	(109%)	(115%)	(-0.1)	(-0.4)	
金のいぶき	大崎市三本木	本年値	86.6	21.7	451	79.1	357	33.3	13.2	前年比・差
		平年比・差	(91%)	(99%)	(108%)	(102%)	(110%)	(-3.0)	(0.0)	
ゆみあすさ	加美町平柳	本年値	69.7	18.6	291	86.4	252	28.0	12.0	新規
		平年比・差	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	本年値	72.8	16.5	295	71.1	209	32.7	11.8	前年比・差
		平年比・差	(95%)	(99%)	(77%)	(98%)	(76%)	(+4.2)	(+0.8)	
みやこがねもち	大崎市岩出山	本年値	84.3	15.6	340	81.3	277	27.6	13.8	
		平年比・差	(100%)	(98%)	(91%)	(112%)	(102%)	(-1.3)	(+0.1)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	本年値	90.6	18.0	469	63.7	299	30.7	10.6	
		平年比・差	(107%)	(100%)	(109%)	(106%)	(116%)	(+0.7)	(-1.7)	

※平年比・差は前5か年（平成30年～令和4年）の平均値との比較

2 適期刈取について

【適期刈取】積算平均気温による判定

出穂期後の毎日の平均気温を積算して判定します。表2の品種別の積算気温において、**刈取早限は適期始期、刈取晩限は適期終期の目安**となります。たとえば、「ひとめぼれ」の刈取早限は940℃、刈取晩限は1,100℃です。

8月下旬以降も高温傾向が続いたため、9月25日時点では8月中旬頃に出穂したほ場でも、940℃に到達する日数はかなり短縮しました（表3）。

みやこがねもち、つや姫などの晩生品種や直播栽培のほ場でも、既にほとんど刈取適期に達してみられることから、早めに刈り取りましょう。

表2 積算気温等による刈取適期の目安

品種名	積算気温（刈取早限～刈取晩限）	出穂後日数
ひとめぼれ	940℃～1,100℃	40日～45日
まなむすめ 蔵の華	960℃～1,050℃	
ササニシキ	930℃～1,170℃	45日～50日
みやこがねもち	950℃～1,150℃	
だて正夢	1,020℃～1,060℃を目安に	50日前後
金のいぶき	1,050℃～1,150℃	50日～55日
つや姫	1,000℃～1,200℃	

表3 出穂期後の積算平均気温到達日（9/26以降の気温が前5か年並での推移を想定）

地帯	積算気温	出穂期												備考
		7/25	7/27	7/29	7/31	8/2	8/4	8/6	8/8	8/10	8/12	8/14	8/16	
北部平坦	940℃	8/28	8/30	9/1	9/4	9/6	9/8	9/10	9/12	9/15	9/17	9/19	9/21	北部平坦の出穂期は7/27
	1,000℃	8/30	9/2	9/4	9/6	9/8	9/10	9/13	9/15	9/17	9/19	9/21	9/24	
	1,100℃	9/2	9/4	9/7	9/9	9/11	9/13	9/16	9/18	9/20	9/22	9/25	9/29	
	～940℃日数	34	34	34	35	35	35	35	35	35	36	36	36	
西部丘陵	940℃	8/29	8/31	9/2	9/5	9/7	9/9	9/11	9/14	9/16	9/18	9/20	9/23	西部丘陵の出穂期は8/2
	1,000℃	9/1	9/3	9/5	9/7	9/9	9/12	9/14	9/16	9/18	9/20	9/23	9/26	
	1,100℃	9/3	9/6	9/8	9/10	9/12	9/15	9/17	9/19	9/22	9/25	9/28	10/1	
	～940℃日数	35	35	35	36	36	36	36	37	37	37	37	38	

※北部平坦は古川、西部丘陵は川渡のアメダスデータ使用。9/25までは令和4年の値で、9/26以降は前5か年平均値。出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日から積算平均気温が940、1,000、1,100℃を超えた日とした。

【穂発芽粒の低減】

穂発芽のし易さは品種によって異なり、「金のいぶき」、「みやこがねもち」、「つや姫」は「ひとめぼれ」よりも穂発芽しやすい特徴があります（表4）。また、倒伏したところや生育量が多いところは湿度が高まり、穂発芽しやすくなります。穂発芽性“難”の「ひとめぼれ」でも刈取晩限を過ぎたほ場では立毛状態で穂発芽が散見されます（図2）。

1か月予報では今後も「気温がかなり高くなる見込み」となっているため、「ひとめぼれ」などの中生品種では刈取晩限を過ぎたほ場は早急に刈り取るとともに、晩生品種の「みやこがねもち」や「つや姫」、直播栽培のほ場も刈取適期内に刈り取りましょう。

「金のいぶき」は通常、ある程度不稔が生じますが（図3）、稔実粒が黄色であれば、穂軸が青くても早めに刈り取りましょう。

なびきや倒伏などで、局所的に穂発芽粒が多いところは刈分けしましょう。

表4 優良品種の穂発芽性

	3 易	4 やや易	5 中	6 やや難	7 難
極早生 ・早生	ヒメノモチ			やまのしずく ゆきむすび	
中生	ササニシキ トヨニシキ		たきたて 金のいぶき	蔵の華 だて正夢	ひとめぼれ まなむすめ 東北194号 げんきまる
晩生・ 極晩生	みやこがねもち		つや姫	こもちまる	コシヒカリ



図2 立毛状態での穂発芽（ひとめぼれ）

○：穂発芽を示す



図3 「金のいぶき」の稔実状況

適正な乾燥・調製に努めましょう。
乾燥・調製のポイントは「大崎稲作情報第8号（R5.8.22発行）を参照願います

東北地方 1 か月予報
(9月30日から10月29日までの天候見通し)

令和5年9月28日
仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変わるでしょう。平均気温は高い確率60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	20	50	30
3~4 週目	東北地方	20	30	50

◆◆◆◆◆秋の農作業安全確認運動実施中（9月1日～11月30日）◆◆◆◆◆
農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用、③トラクターへの安全フレーム・安全キャブの使用の呼びかけを行います。

重点推進テーマ 「徹底しよう！農業機械の転落・防止対策」

乾田直播栽培情報

・乾田直播栽培の生育調査を行いました。

稈長は81cm、穂長は19.1cm、穂数は413本/m²、止葉は12.0枚でした。1穂粒数は49.8粒でm²当たり粒数は205百粒/m²となりました。倒伏は見られませんでした。

